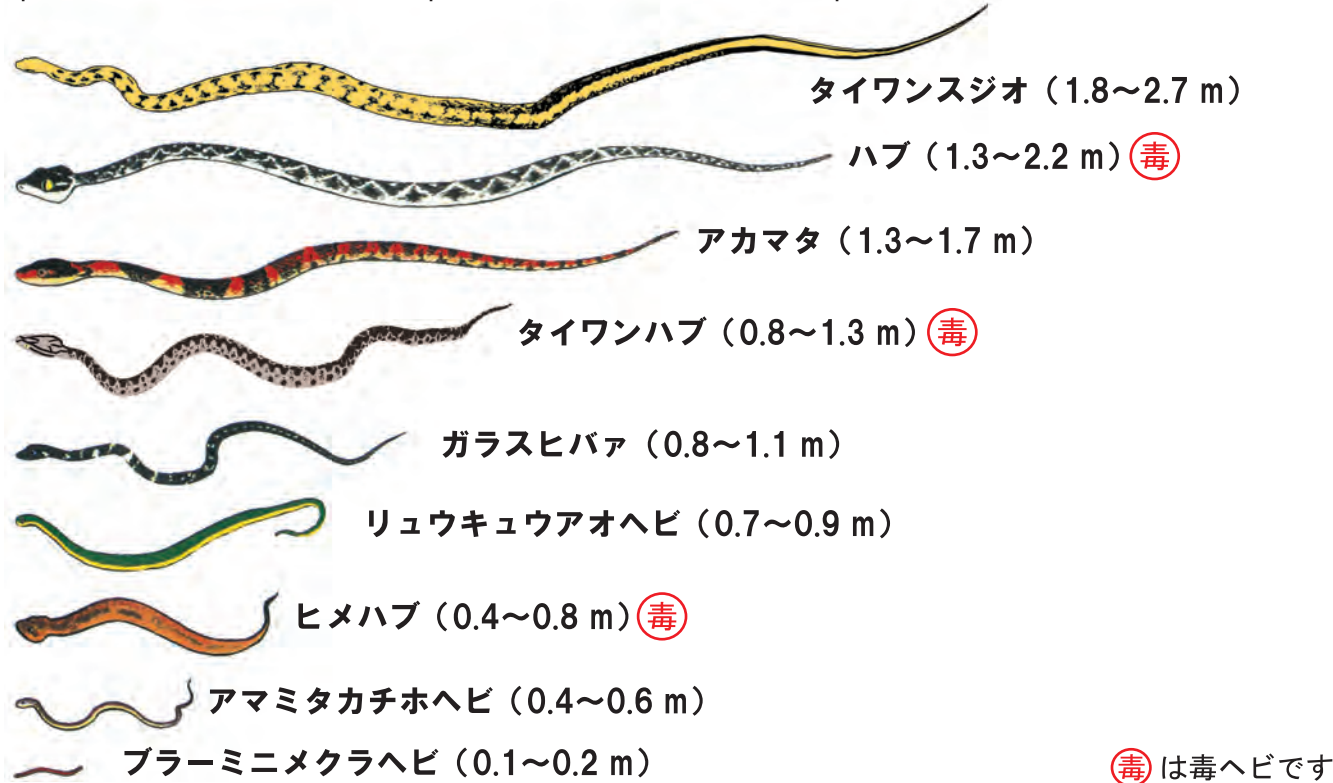
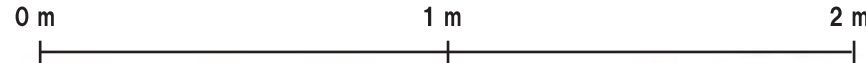


大きさの違い (全長：標準～最大)



タイワンスジオとタイワンハブは沖縄島の一部に定着し、次第に分布を拡大しています。タイワンスジオは主にネズミや鳥を食べ、タイワンハブは餌動物を食べることに加えてハブとの交雑例も見られるなど、生態系への影響が心配されています。このまま分布の拡大を続けると、希少種の多く生息するやんばる地域へも侵入の恐れがあります。

表紙の回答：
 ①ハブ ②タイワンスジオ ③アカマタ
 ④タイワンハブ ⑤ブラーミニメクラヘビ
 ⑥リュウキュウアオヘビ ⑦ハイ
 ⑧サキシマハブ ⑨ヒメハブ
 ⑩ガラスヒバア ⑪アマミタカチホヘビ

このうち沖縄島では②、④、⑧の3種が外来種です。⑧サキシマハブは八重山諸島の在来種ですが、沖縄島では外来種になります。⑤についてはここでは在来種として扱っていますが、古くに持ち込まれた外来種の可能性もあります。

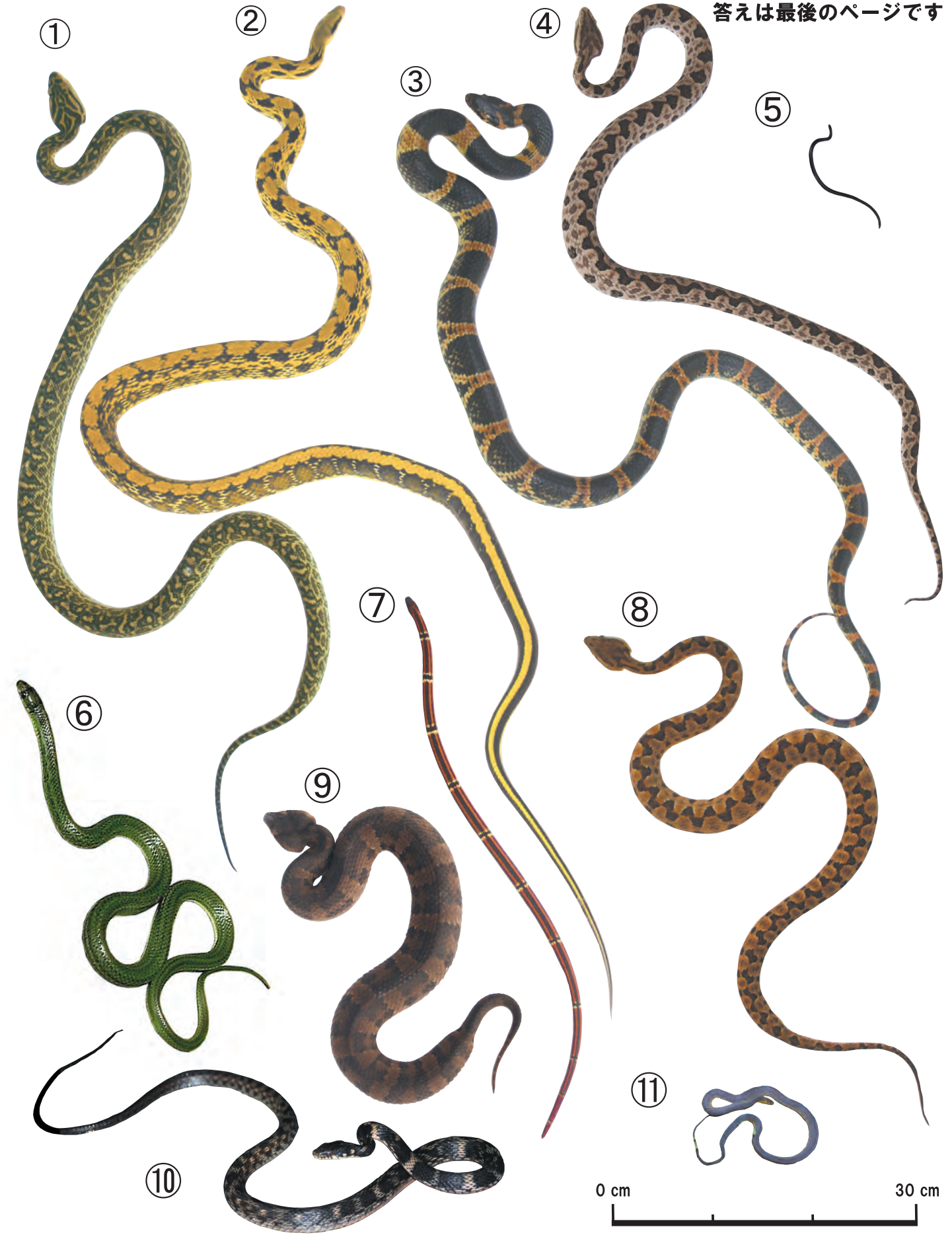
タイワンスジオ、タイワンハブなどの分布状況を把握するために、目撃情報を収集しています。見つけた方は詳細を下記連絡先まで。

連絡先
 環境省 那覇自然環境事務所 (外来生物担当)
 〒900-0027 那覇市山下町5-2 1 沖縄通関社ビル4階
 電話：098-858-5824 ファックス：098-858-5825

外来ヘビを知っていますか？

Q1. これらのヘビの名前を知っていますか？ Q2. 外来種はどれでしょう？

答えは最後のページです



沖縄島の外来ヘビの見分け方

～沖縄島の代表的なヘビ類との違い～

タイワンスジオ

(特定外来生物)

原産国:台湾

全長:1.8~2.7 m



体色は灰黄色～黄褐色

尻尾に太く黒い筋



上面

側面

頭部は細長い台形。眼の後ろに黒い筋が目立つ。

主に屋間に活動しネズミや鳥などを食べる。木登りも得意。

タイワンハブ^毒

(特定外来生物)

原産国:大陸東部、台湾など

全長:0.8~1.3 m



体色は灰褐色～暗褐色

背中に黒いジグザグ模様

夜行性でネズミやカエルなどを食べる。



上面

側面

頭部はハブよりも細長い三角形。

ハブ^毒

沖縄県在来種

全長:1.3~2.2 m



黄色の地色に黒色の複雑な模様

夜行性で主にネズミやビーチャーなどを食べる。木登りも得意。



上面

側面

頭部は細長い三角形。黄褐色の地に黒色の複雑な模様。

アカマタ

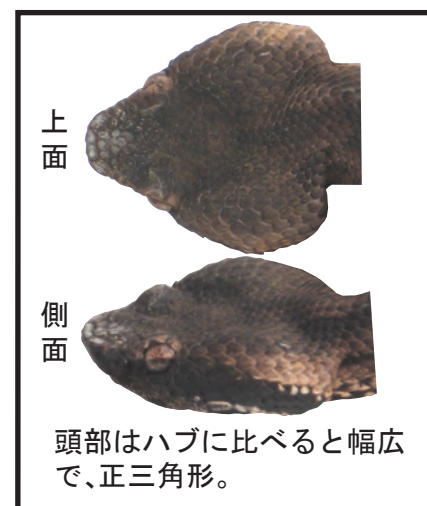
沖縄県在来種

全長:1.3~1.7 m



赤褐色の地色に黒色の縞模様

夜行性で気性が荒く、よく咬みついてくる。トカゲ、鳥などを食べる。



上面

側面

頭部はハブに比べると幅広で、正三角形。



上面

側面

頭部はハブに比べると小さく、首が太い。

ヒメハブ^毒

沖縄県在来種

全長:0.4~0.8 m



体は太くて短い。体色は暗褐色

夜行性でネズミやカエルなどを食べる。

^毒は毒ヘビです

表示した全長は標準～最大値です